



# LINE開発入門～第1回～

LINEのDevelopersアカウントを作成・開発してみる



# 自己紹介

- ▶ 重本 尚志
- ▶ 略歴：
  - ▶ 徳島大学工学部卒業（2008-03）
  - ▶ 独立系IT企業に新卒として入社（2008-04）
  - ▶ C#やJavaを中心（クラサバ多め）に案件を転々とする。
  - ▶ 退職・独立（2017-01）
  - ▶ 株式会社PUreatio設立（2018-12）
- ▶ 趣味：トレーディングカード収集
- ▶ 好きな食べ物：奈良漬、味噌ラーメン
- ▶ 最近腰と背中が痛いので、歳とったなと思う切実に



# 目次

- ▶ LINEとは
- ▶ LINE Developersでできること
- ▶ LINEのMessagingAPIを利用してみる



# LINEとは

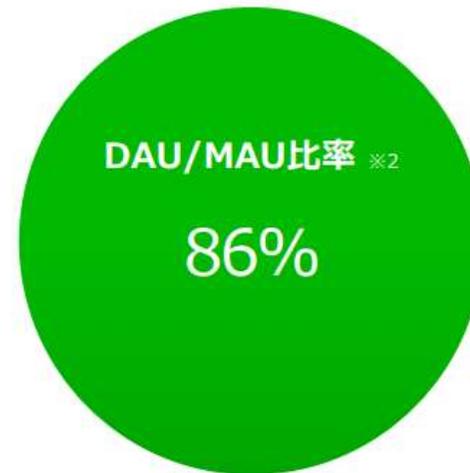
- ▶ LINE株式会社が提供しているSNSサービス
  - ▶ ユーザー同士で無料でチャット、IP電話等が行えるコミュニケーションツール
  - ▶ 2011年6月にサービスが開始されている
- ▶ LINEでできること
  - ▶ チャット
  - ▶ スタンプ送付
  - ▶ IP電話(ビデオ電話)
  - ▶ その他、LINEサービスの利用(ゲーム、LINE Pay等)

# LINEとは

国内のMAUは8,100万人以上。  
日本の人口の64%以上をカバーしています。



日本の人口の64%以上 ※3



毎日利用している日本国内のユーザー

出典：※1 自社調べ LINEアプリ 月間アクティブユーザー 2019年6月末時点

出典：※2 MAUにおけるDAU = Daily Active User（1日に1回以上利用したユーザー）の割合 2019年6月末時点

※3 LINEの国内月間アクティブユーザー 8,100万人÷日本の総人口1億2631万人(平成31年2月1日現在(確定値) 総務省統計局)



# LINEとは

- ▶ LINEの開発作業に必要なもの
  - ▶ **LINEアカウント**
    - ▶ メールアドレスだけのものではなく、端末で利用しているLINEのアカウントが必要
  - ▶ LINE Developersへの登録
    - ▶ 登録時、LINEアカウントへの関連付けを行う必要がある
    - ▶ LINE Developersへ登録することで、APIやBot Designerが利用できる
- ▶ 補足：用語集
  - ▶ <https://developers.line.biz/ja/docs/glossary/>

# LINEとは

## ▶ アカウントの種類

アカウントの種類	補足
LINEアカウント	携帯にインストールされているアカウント。 Developers登録で関連付けするためには、メールアドレスを登録し、PCでログインできる状態にしておく必要がある。
ビジネスアカウント	メールアドレスだけで作成されるLINEアカウント(公式アカウント)。 認証アカウント、未認証アカウントが存在し、料金毎にサービスプランが存在している。 Developersに関連付けするアカウントに、紐付けができない(未認証アカウントはできなかった)。

# LINEとは

- ▶ ビジネスアカウントを作成した場合の料金体系

	フリープラン	ライトプラン	スタンダードプラン
月額固定費	無料	5,000円	15,000円
無料メッセージ通数	1,000通	15,000通	45,000通
追加メッセージ料金	不可	5円	~3円 ※詳細は <a href="#">こちら</a> よりご確認ください。



# LINE Developersでできること

- ▶ LINE Developersでは以下のことが可能となっている
  - ▶ LINEログイン
  - ▶ MessagingAPI
  - ▶ LINE Bot Designer
  - ▶ LINE Things
  - ▶ Clova Extensions Kit
  - ▶ LINE Pay
- ▶ <https://developers.line.biz/ja/services/>

# LINE Developersでできること



## LINEログイン

ユーザーが自分のLINEアカウントを利用して、LINEログインが組み込まれたアプリのアカウントを簡単に作成できる。

# LINE Developersでできること



## Messaging API

LINEアカウントで利用可能なBotを作成できる。

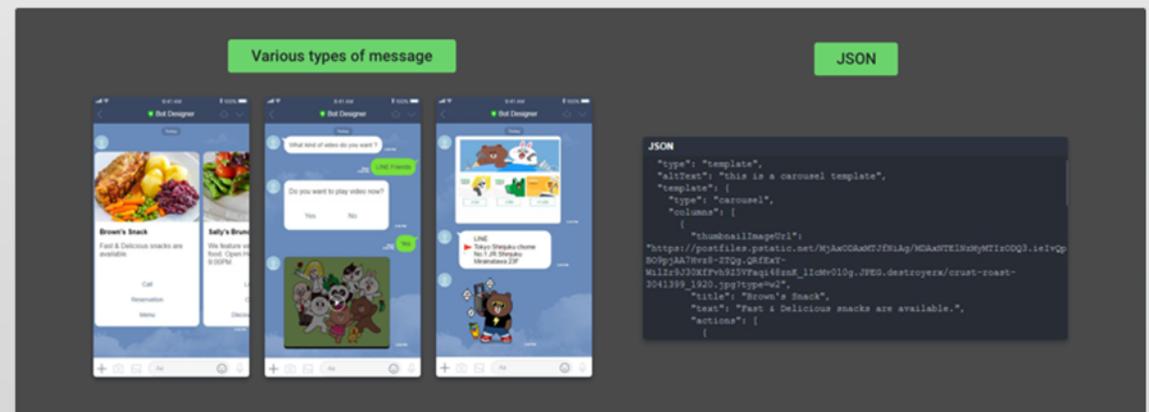
公式アカウントをBotモードで運用することで、LINE公式アカウントがBotとして動作する。

# LINE Developersでできること



## LINE Bot Designer

チャットボットのプロトタイプを作成するための無料アプリケーション。  
PCにインストールして利用する。



# LINEのMessagingAPIを利用してみる

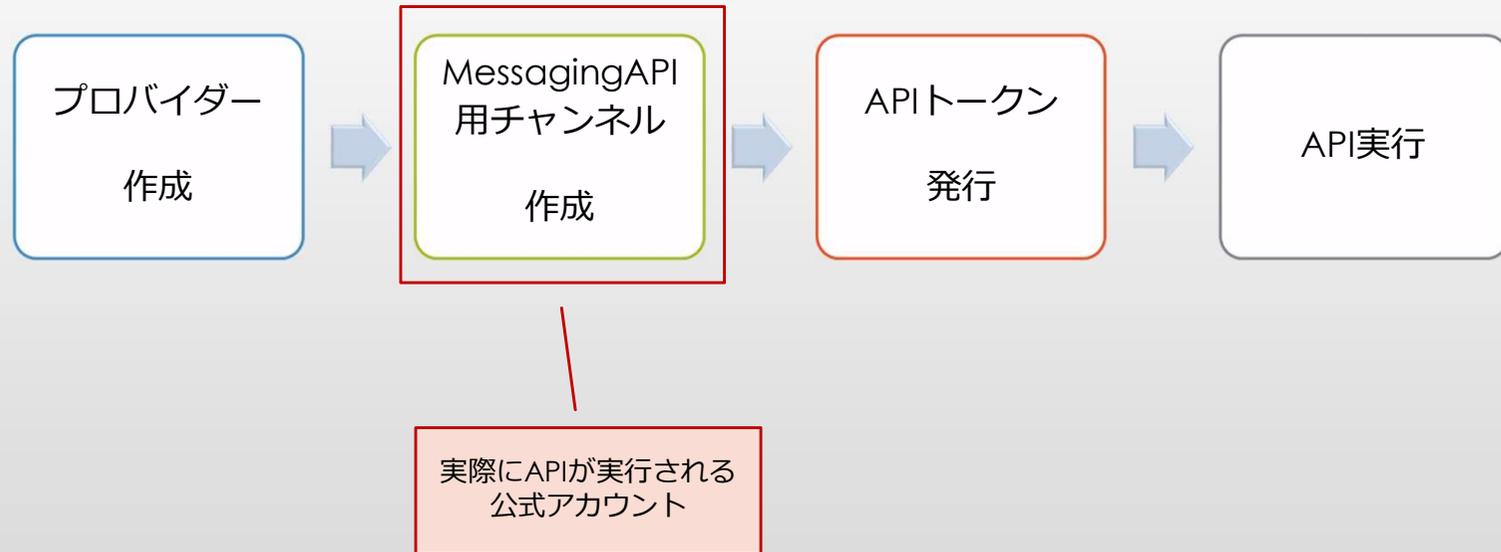
## ■ 今回やってみたこと

- LINE MessagingAPIのうちブロードキャストメッセージ送信APIを利用する
  - ブロードキャストメッセージ = 全体へのメッセージ送信
  - この他にも、以下のようなメッセージ送信方法がある。
    - プッシュメッセージ(特定の個人にメッセージを送信)
    - リプライメッセージ
    - マルチキャストメッセージ(複数宛てにメッセージを送信)

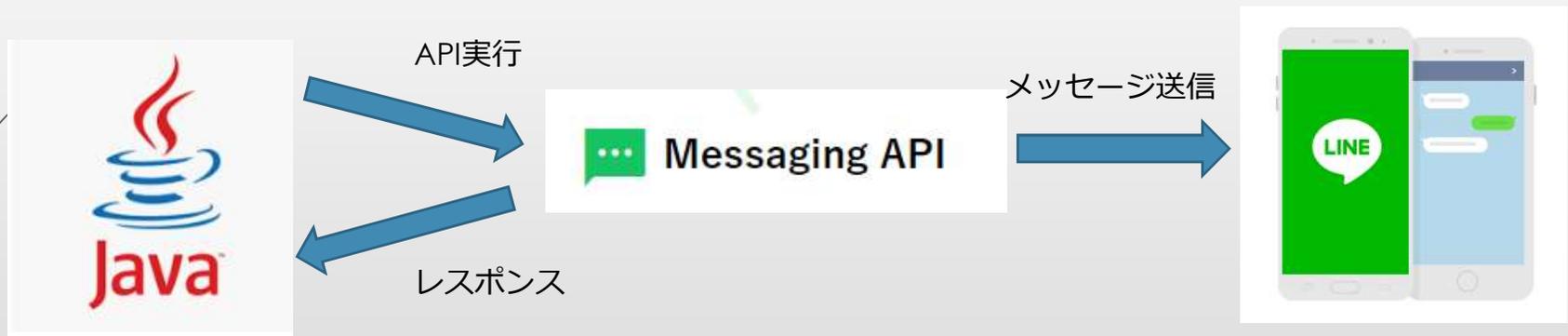
## ■ 利用したもの

- Java1.8
- Jackson(Json変換)
- Apache HttpClient

# LINEのMessagingAPIを利用してしてみる



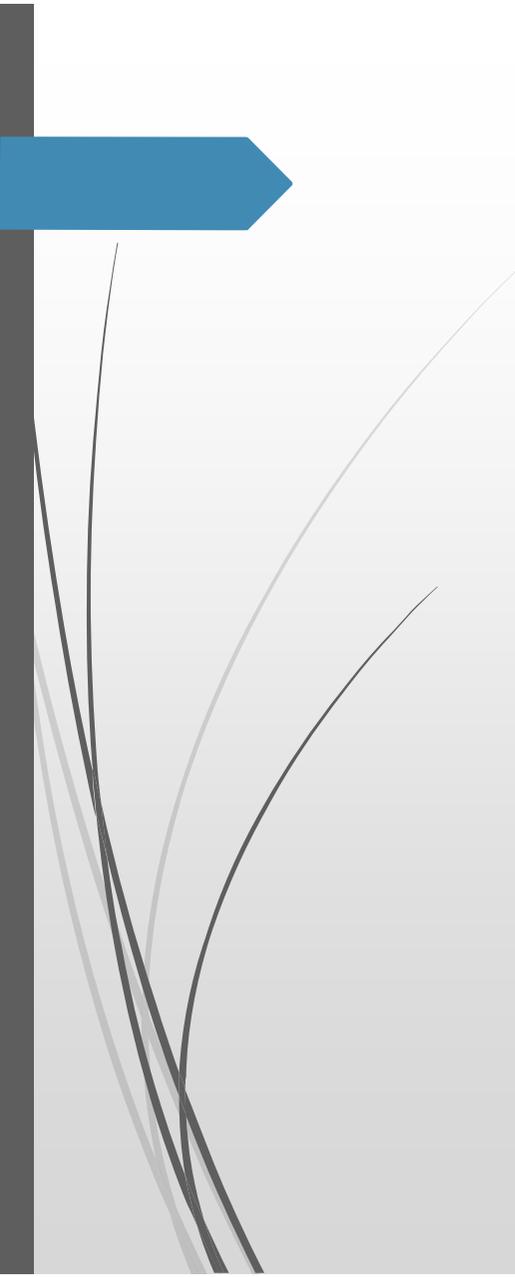
# LINEのMessagingAPIを利用してみる





# まとめ

- ▶ LINE公式アカウントには、認証済と未認証がある
  - ▶ LINEの審査を通過していれば認証済、そうでなければ未認証
  - ▶ 未認証アカウントであればすぐに作れる
- ▶ LINEの公式アカウントを直接作るのと、LINEのDevelopersアカウントから公式アカウントを作るのでは、手順が違う
  - ▶ どちらでも公式アカウントは作れる
  - ▶ Developersアカウントはメールアドレスだけでは作れない
- ▶ LINEのMessagingAPIを使う際、集計関連のものは取得対象の日付に注意する必要がある
  - ▶ 集計は翌日までに終わるとされているので、API実行直後に集計結果を取得しようとしても実際は集計が終わっていないことが多々ある



**ご清聴ありがとうございました**